



水戸市男女平等参画基本条例の啓発と
男女平等参画社会の形成と促進のために

WAVE 第15号

発行日：平成28年11月30日
発行：特定非営利活動法人
M・I・T・O 21
〒310-0851 水戸市千波 508-34
発行責任者：黒澤輝子



理事 田山 知賀子

消費者市民社会をめざして

超少子高齢社会の到来に伴い
高度情報化や国際化の進展により、私たち消費者を取り巻く環境は大きな変化をしています。最近の消費者トラブルはアダルトサイトなどの架空請求やオンラインゲームなどのインターネットを利用したデジタルコンテンツ関係が年代を問わず上位を占め、ネット通信販売もグローバル化しトラブルが多くその内容も複雑多岐化しております。一方お年寄りを狙う二重電話による振り込め詐欺や未公開株などの特殊詐欺なども後を絶ちません。「消費者白書による2015年の消費者トラブル被害額は6,1兆円と増大し、消費者の安心安全の生活が脅かされております。

水戸市は消費者被害意をなくし、健全な消費生活をめざすため平成26年4月「水戸市消費者生活条例」を制定。さらに学校や消費者の権利を尊重し自立し賢い消費者となるため学校・家庭・地域・職域などでの「消費者市民社会」を醸成するための消費者教育や啓発を推進するための「水戸市消費者教育推進計画」を制定しました。

続いて27年4月には将来にわたり、誰もが幸せに暮らしていくことができるまち・水戸の創造をめざし「健全で豊かな消費生活都市」の宣言をしました。消費者に関する都市宣言は全国初であり、「さきがけの街」水戸市の先駆的な取り組みは話題を呼んでおります。

さて水戸市の条例や消費者教育推進計画に「消費者市民社会」の形成をめざすと聞きなれない言葉が明記されておりますが消費者市民社会とどのような社会なのでしょう。

国は平成24年12月施行された消費者教育推進法の中で消費者教育を通して「消費者市民社会」の形成をめざすとしています。現代の消費者問題とは単なる消費者が被る被害だけではありません。本年11月4日に大量消費社会における地球温暖化対策の新しいルール「パリ協定」が発効されました。経済や環境など地球の持続可能な存続が世界的に危ぶまれる昨今です。持続可能な環境、社会をめざすための理念が「消費者市民社会」なのです。言い換えれば私たち一人ひとりこれまでの欲求を満たすための受け身の消費から、使用・廃棄・再生までの過程で社会や経済を考え、事業者や行政に影響を与える消費行動をすることが

「消費者市民社会」なのです。

私たちが商品やサービスを選ぶ消費行動は選挙の投票と似ております。消費者の権利を提唱したケネディ大統領はその一つに「選ぶ権利」があるとしています。「地産・地消」の商品やサービスを選ぶことも安心安全に加え、地域の活性化に繋がることも忘れてはなりません。

世界に目を転じてみると貧困に置かれた子どもを児童労働から救うフェアトレードの商品などを購入することも公正で持続可能な社会を創ります。

個々の特性や多様性を認め合う消費者市民社会は男女平等参画社会の実現、ダイバーシティをめざす私たちの目的とつながります。

高齢者や障害を持つ方をはじめ、誰もが安心して幸せに暮らしていけるまち、次世代が生き生きと暮らせるまち、消費者・生活者が中心の健全で豊かな水戸市を築いてまいりましょう。私たちの行動が消費者市民社会という未来を作るのです。

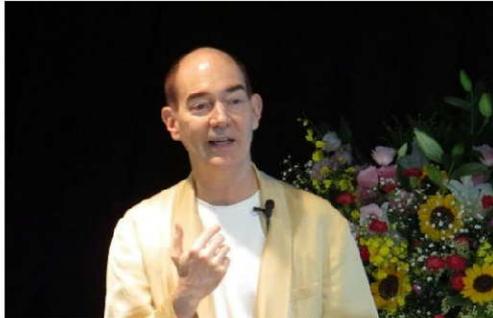
ヒューマンライフシンポジウム 初参加感想……

b 女と男 未来につなぐメッセージ

平成 28 年 9 月 11 日(日)

「日本ってどんなところ? ~文学からジェンダーまで」

みと文化交流プラザ 6 階



演壇のロバート氏

あー楽しかった。なんと有意義なひとときだったろう。私はキャンベル氏の講演がとても待ち遠しかった。講演は最初笑いから始まりやがて最後には深く考えさせられました。

キャンベル氏は、クリーム色のブレザー姿で軽やかに登場、雰囲気のあるやわらかい声で話し始められました。

まず、歌舞伎の色悪の話を皮切りに、日本文学から始め、次に欧米の都市の違い、最後に日本はどうするのか、どう発信するのかを、世界から求められているとグローバルな視点で締めくくられ、氏の深い洞察力、そして深い思いを感じました。

氏は3つの例をあげ、①「男ことば・女ことば」、②紀貫之がかな文字で書いた「土佐日記」、③「井上陽水・戸惑うペリカンの歌詞」であり、

「男ことば・女ことば」は瞬時にジェンダーやセクシュアリティが判断でき、日本文化の対人関係の取り方として、話す相手によって話し方(性別・社会的なこと・親密の度合い)を変えアイデンティティを表すといえます。

「土佐日記」はジェンダーが自由で創造的、入れ替わる言語文化といい、「井上陽水・戸惑うペリカンの歌詞」は、一人称が無く、ユニバーサルで He (彼) が She (彼女) かは聞く人の想像に任せられています。これぞ日本文学の王道だと話され、日頃何気なく使っている日本語は、こんなにも多様性があるのだと、あらためて気づくことができました。

ただ、個人的にはビジネスの上で女性が活躍する場面が多くなってくると少しずつ日本語の表現も変化が見えてくるのではないかと思いました。

またNY、ロンドン、日本の違いをあげました。西欧ポピュリズムで 50 年前に舞い戻っているNY。他方、洗練されているロンドンはNPO運営を大げさに表さない園芸センターや100年前からトラストで運営している子どものために開かれた桜の公園をあげ、非常に感心しました。

日本では緩やかな繋がりをいろんな形で築き上げ、世界に発信しています。共通の目標に向かって一つのことを行なうことを大切にしている国です。震災後、宮城県岩沼市でのボランティア活動を例にあげ、岩沼市では復興へ向けて国内外、多くの人々が支援に来て下さっている。ここではみやげや支援のお礼として地元の食材を使い、地元のお母さんたちが作った「希望カレー」を紹介してくれました。

昨今、特定の外国人に対するヘイトスピーチやいじめ、DV、職場のセクハラ・パワハラ等、様々な課題があり、判断に迷うことが多くあります。

最後にすべては自分の心と行いにかかっており多くの市民にどう正しく発信していくか、日本人は多くのことを求められているとおっしゃっていました。私は日本人であることを誇りに思うと同時に、NPOの一員として男女・老若・人種・障がいの有無など一人の排除者も作らない 2020 年に向けて、グローバルな視点に立ち活動する必要性を感じています。(岡井美枝子記)

「準備」に関するエピソード

～ ヒューマンライフシンポジウム2016に参加して ～

フリーアナウンサー 高木圭二郎
(元茨城放送アナウンサー)

私は昨年までラジオ局の茨城放送に在籍しアナウンサー兼ディレクター、報道記者として活動しました。フリーとなった今年、水戸市男女平等参画推進委員にも委嘱されたことから司会の仕事をいただきました。

今回のゲスト講師は、東京大学大学院教授のロバート・キャンベルさん。職業柄「準備」を入念に行うタイプの私は、著作や映像、ネット情報など出来る限りチェックしました。著作はネットで中古本を購入。動画サイトではコメント音声を聞いてメモおこし。公式ホームページでは最新情報を入手。幸いにもパソコン一つで情報が多数集められました。

そしてシンポジウム当日。私が「大きな拍手でお迎え下さい。ロバート・キャンベルさんです！」と紹介するとキャンベルさんは最初の「つかみ」として司会の私の「低い声」の話でスタート。

さらに「司会の高木さん、いや高木君と呼ばせてもらいましょう」と「君づけ」の逆紹介。私にとって想定外の展開でしたが、場内のムードも和んだ様子でした。



実は本番直前、キャンベルさんとは舞台袖で簡単な打ち合わせを行いました。

その際私は著作の印象深い点や数々のコメント内容について詳しく質問していたのです。

キャンベルさんは私の「準備」を感じ取って、臨機応変にフレンドリーな逆紹介をしてくださったのかもしれませんが。

講演でのキャンベルさんは、日本の文化の風潮、ミュージシャンとの交流秘話、アメリカ大統領選挙の話など多岐にわたる持論を展開。私は皆様とともに有意義な学びの時間を共有できました。

有意義な時間を過ごせたのも、スタッフの皆様の「準備」があったからこそと思います。企画運営のNPO法人「M・I・T・O 21」の皆様は、水戸市職員の皆様とともに、入念なりハースルと組織的な運営をすすめられました。「準備」が当日の混乱を未然に防いだのだと思います。

パソコン、スマホ等によって情報面の「準備」が以前より容易になっています。

皆様にも情報面でのご準備をおすすめしたいと思うとともに、私のエピソードが何かのご参考になれば幸いです。来年のヒューマンライフシンポジウムのご成功も心より祈念しています。

会場内
右端でメモを取る高木アナウンサー

いまいきシニアライフ金融講座

平成 28 年 6 月 22 日(水)

～年金暮らしの中でお金を減らさない工夫～

茨城県金融広報委員会
金融広報アドバイザー 中里矩明氏



真剣に資料を見つめる参加者

日頃使えるお金の額を押さえてから運用に、リスクとリターン、お金に関するトラブルに巻き込まれないように。疑問やわからない事は家族・友人 消費生活センターへ
茨城県 029-225-6445 へ

現代社会を取り巻く状況は閉塞感、不確実性の強い社会と
感じるのは私たちだけでしょうか！ ①少子・高齢化の進展
②雇用環境の変化 □経済状況の変化
そして増税-相続税

平成 28 年 4 月法定相続人の基礎控除の引き上げ (600 万円へ)
消費税 平成 26 年 4 月 8% 平成 27 年 10 月 10%
(平成 29 年 4 月に延期、平成 31 年 10 月に再延期)
・低金利とマイナス金利の導入

この状況の中、日本の高齢者人口と高齢者世帯の増加及び
社会保障費の増大は高齢社会から超高齢社会へ驚異的な速さ
平成 25 年の平均寿命 (女 86.83 歳 : 世界 1 位 男 80.50 歳)
健康寿命を少しでも長く→新しい人生や生きがいの創造を！
*わかっているつもりが、ついでまされる「自分だけは大丈夫」
と絶対に思わないこと。あわてず、しっかり確認すること。
仲間と共に地域の中で学びあえる幸せを感じた講座でした。

予科練平和記念館・雪印メグミルク阿見工場見学

平成 28 年 7 月 21 日(木)

予科練慰霊碑



雨模様の朝、集合した会員を載せ、バスは阿見町予科練平和記念館へ。映画「桜花」でも 13, 14 歳の若い少年が敵の艦隊へ近づき、そして散っていった。入隊当初のキラキラ輝く瞳が映像に、写真パネルに現れる、真剣に勉学に励み、休みには饅頭をほおぼる。今どきの子どもと変わらない純朴な彼ら。今も残された遺族が慰霊碑を訪れる。

予科練平和記念館は阿見町公設運営、当時の入隊者の記録、日課の様子、ハンモックで就寝、手荷物の管理、訓練の内容、一人ひとりの日記などを展示、また土浦、阿見周辺を襲った攻撃の証言を地元の住民が恐ろしさを語っている。

予科練平和記念館



阿見プレミアムアウトレットにてランチを取り、午後は雪印メグミルク工場の見学。工場概要のビデオ上映、工場内を案内され、チーズをいろいろ試食させていただき、数々のおみやげ品を買い物して工場を後にした。案内役は地元採用の雪印ファンの女性「やっぱり牛乳は雪印が好き」と参加者と一致した意見でした。



編集後記:平成 28 年度前期の活動報告として、会報をお届けします。一面は水戸市が平成 27 年 4 月健全で豊かな消費生活ができる「消費生活都市」をめざす都市宣言をしたことを取り上げました。本会の理事である田山知賀子氏が消費者庁の今年度の「ベストサポーター章」を受賞し、「消費者問題に取り組むのはライフワーク」「貧困の時代と言われるなかで市民が幸せと感ぜられるよう今後も人生をかけたい」と抱負を述べておられます。多様な社会、男女平等参画社会の未来はここにあるのです。事務局